

三菱地所、森ビル／知的照明システムの実験開始／同志社大学の研究に協力  
438 語  
2010 年 2 月 26 日  
日刊建設工業新聞  
NIKKEN  
日本語  
(c) 2010 日刊建設工業新聞社

三菱地所と森ビルは、同志社大学が進めるオフィス向け「知的照明システム」の研究に協力し、所有ビルで同システムの実証実験を開始した。照明の色や明るさをデスクごとに設定できる同システムが、実際のオフィスでどのように使われるかデータを収集し、実用化に向けた課題や二酸化炭素(CO2)削減効果などを明らかにする。

研究は新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成を受けて同大が08年度に着手した。同システムを使うと人工知能によって照明一つひとつを異なる明るさや色に設定でき、操作は業務用のパソコンで簡単に行える。実験は来年3月まで。研究を担当する同大の三木光範理工学部教授は「同システムによってCO2を4〜5割削減できる。3年後には市販できるようにしたい」と話す。

三菱地所は東京・丸の内の東京ビルディングに入る三菱電機本社フロアに、森ビルは東京・六本木の六本木ヒルズ森タワー内の自社フロアに実験設備を導入した。実験照明には三菱地所が三菱電機製のLED照明、森ビルが自社開発の蛍光灯を使用する。